

第2学年通信

第7号 平成27年10月30日(金)

ホームページ <http://www.nc.isesaki-hs.gsn.ed.jp/>

三宅先生からのメッセージ

今日は皆さんに、数年前にフェイスブックに載ったあるアメリカ人の話をしたいと思います。ローラという名前の、笑顔のとってもすてきなおばあちゃんの話です。大学で勉強するのが彼女の長年の夢でしたが、若い頃は貧しくて、結婚後は育児や家事が忙しくて、その後は夫が病気になって働かなければならなくなったり、更には自分も病いに倒れ...そんなことでなかなか学ぶ機会を持てなかったそうです。やっと念願叶ったローラは、80歳にして晴れて大学生になることができました。

異色のローラはたちまちキャンパスの人気者になり、彼女の周りにはいつも若い学生たちが集まったそうです。ローラの話すこと一つ一つが、若者には非常に珍しかったり、教科書では学べないことがたくさんあったからです。何しろ彼女は周りの学生よりも60年も長く生きているのですから、ローラの語る些細なことも、貴重で示唆に富んだものだったのでしょう。

ローラは休学することもなく無事に大学を卒業したそうです。そして、これはドラマのような話ですが、念願の学位記を手にした数日後に、彼女は眠るように天に召されたそうです。

私はこの話を聞いて、胸がいっぱいになりました。学ぶことへの希望を捨てず、夢を実現したローラを、見ず知らずの他人ながら誇りに思いますし、すばらしい生き方だなと思います。

「学ぶ」という行為は、学生の時にしかできないことではなく、生きている限り、いつでもどんな状況でもできることなんだなと思いました。机に向かっている時だけが勉強ではなく、自分が経験することすべてから学べるということを改めて教えられました。そして、学べることの有り難さを感じました。世界中にはローラのように学びたくても学べない人がたくさんいます。親の支援を受けて学べるのがどんなにありがたいことなのか、ということを考えてみてください。勉強しなければならないという義務から、勉強できるという感謝へ視点を変えたら、毎日の授業に臨む態度にも変化が現れるかもしれません。

さて、皆さんは有り難いことに、今学べる環境にあります。この恵まれた環境を無にする程もったいないことはありません。皆さんの直近の目標は進路実現を図ることだと思います。自分の進路を実現するために、まずは皆さん、今この高2の秋に「受験生」へと気持ちを切り替えてください。

保護者の皆さんへ

修学旅行も終わり、進路に向けての行事が多くなります。面談や12月の大学見学で、具体的な目標を持たせたいと思います。ご理解ご協力をお願いします。

日	曜日	11月の行事予定	備考
1	日		校舎内にはいれません
2	月	創立記念式典	
3	火	(祝)文化の日	校舎内にはいれません
4	水	避難訓練②(5分短縮授業)	スクールカウンセラー
5	木		
6	金	漢字検定③	
7	土		
8	日	英検二次試験	校舎内にはいれません
9	月	二者面談週間 (40分授業6限まで)	
10	火	〃	
11	水	〃	
12	木	〃	
13	金	〃、マナーアップ運動	学生スクールカウンセラー
14	土		
15	日		校舎内にはいれません
16	月		
17	火		
18	水		スクールカウンセラー
19	木	日本語のチカラ③	
20	金		学生スクールカウンセラー
21	土	土曜補習 ⑥	
22	日		校舎内にはいれません
23	月	(祝)勤労感謝の日	校舎内にはいれません
24	火		
25	水		
26	木		
27	金		学生スクールカウンセラー
28	土		
29	日		校舎内にはいれません
30	月	期末考査(～12/3)	

今回の学年通信は、三宅久美子先生にお願いしました。三宅先生は、1組の副担任で英語の先生です。勢多農林高校から本年度赴任した先生ですが、3年前にも本校に勤務していました。経験豊富なベテランの先生です。授業以外では、保健部や国際部の係をしていて、美術部の顧問もしています。